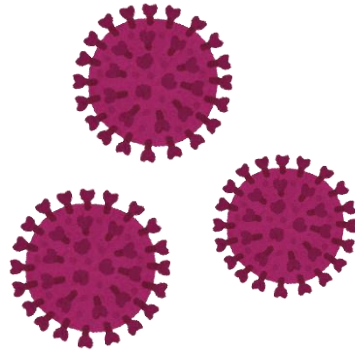


## 第45回奈良市新型コロナウイルス対策本部会議

(特措法に基づかない市独自の対策本部会議の45回目、合計で71回目)

# 新型コロナウイルスの感染状況 及び本市の対応



令和4年7月14日(木)

奈良市新型コロナウイルス対策本部

## 新型コロナウイルス関連の主な動向など

6月 9日(木)	奈良県は、入院運用病床522床→397床、重症対応運用病床36床→27床に縮小
6月22日(水)	<b>岡山県</b> で、検疫を除き <b>国内初となる</b> 、オミクロン株の系統の1つ「 <b>BA.4</b> 」の感染を確認
6月30日(木)	<b>東京都</b> モニタリング会議、感染が再拡大しているとして、 <b>警戒レベルを1段階引き上げ</b> 再拡大の要因として、①暑さによる換気不十分、②人出の増加、③免疫効果の低下、④BA.5への置き換わり、の4つを指摘
7月 5日(火)	<b>厚労省</b> は、感染が全国的に増加傾向に転じていることから、全国の自治体に対して、 <b>病床や検査体制の確保などを進めるよう事務連絡</b>
7月 7日(木)	<b>東京都</b> モニタリング会議後、小池知事が「 <b>第7波に入ったとも考えられる</b> 」と発言 専門家は、急激な感染拡大に直面、要因の一つとして「 <b>BA.5への置き換わり</b> 」を指摘
7月11日(月)	<b>尾身会長</b> 、「 <b>新しい波に入ったのは間違いない</b> 。感染リスクが高い場面は変わらない。できること <b>(基本的な感染対策の徹底)</b> をすれば <b>行動制限は今の段階では不要</b> 」と発言 「医療のひっ迫を防ぐため、政府や自治体が <b>医療や検査、ワクチン接種の体制を整え</b> 、 <b>国として基本的な感染対策の徹底を呼びかけるよう</b> 」首相に求めた。
	<b>大阪府</b> 、大阪モデルの「 <b>黄色信号</b> 」点灯、高齢者施設での面会は原則自粛
7月13日(水)	<b>全国</b> の新規陽性者、 <b>9万人超え</b> で第6波のピークに近づく。 <b>13の県で</b> 、新規陽性者が <b>過去最多</b> (青森、岩手、石川、静岡、三重、和歌山、高知、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄)

### 感染の状況

全国的に、6月20日の週から増加に転じ、**7月4日の週から増加傾向が顕著に**

# 都道府県ごとの人口10万人当たりの新規陽性者数

2月2日(水) = <b>ピークの週</b>			6月15日(水) = <b>底の週</b>			7月13日(水) = <b>昨日</b>			増減
順位	都道府県	直近1週間の新規陽性者数/10万人	順位	都道府県	直近1週間の新規陽性者数/10万人	順位	都道府県	直近1週間の新規陽性者数/10万人	6月15日(水)との比較
①	東京	820.6人	①	沖縄	581.7人	①	沖縄	1,204.7人	107.1%↗
②	大阪	775.1人	②	鹿児島	156.9人	②	島根	825.0人	—
③	京都	622.1人	③	熊本	144.9人	③	熊本	703.6人	385.6%↗
④	兵庫	583.3人	④	佐賀	120.2人	④	佐賀	679.8人	465.6%↗
⑤	福岡	575.6人	⑤	福井	120.1人	⑤	東京	506.3人	543.3%↗
⑥	神奈川	533.8人	⑥	北海道	109.9人	⑥	大阪	486.4人	414.7%↗
⑦	愛知	482.5人	⑦	長崎	109.2人	⑦	福岡	461.1人	—
⑧	奈良	470.5人	⑧	宮崎	103.7人	⑧	鹿児島	456.7人	191.1%↗
⑨	千葉	412.7人	⑨	青森	102.4人	⑨	大分	455.7人	—
⑩	埼玉	411.2人	⑩	広島	102.2人	⑩	宮崎	437.9人	322.3%↗
—	—	—	⑫	大阪	94.5人	—	—	—	—
—	—	—	⑱	東京	78.7人	—	—	—	—
—	—	—	⑳	奈良	61.2人	⑲	奈良	294.0人	380.4%↗
—	全国	453.6人	—	全国	80.1人	—	全国	328.8人	310.4%↗
—	奈良市	486.2人	—	奈良市	66.2人	—	奈良市	298.3人	350.6%↗

# 東京都などにおけるBA.5が占める割合の推移

	5/17~5/23	5/24~5/30	5/31~6/6	6/7~6/13	6/14~6/20	6/21~6/27
BA.2疑い	99.7%	98.4%	88.0%	82.2%	67.1%	57.8%
BA.2.12.1疑い	0.3%	0.8%	0.5%	4.1%	6.4%	4.5%
BA.4疑い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	4.2%
<b>BA.5疑い</b>	0.0%	0.8%	11.5%	13.6%	25.1%	<b>33.4%</b>

(第92回東京都モニタリング会議(7月7日(木))の資料から引用)

## 大阪府

(7月6日に、吉村知事が発言)	6/20~6/26	6/27~7/3
BA.4又はBA.5の疑い検出率	8%	<b>26.9%</b> (前週の約3倍)

## 島根県

	6/22~6/27	7/1~7/5
BA.2	23.20%	13.79%
<b>BA.5</b>	<b>76.80%</b>	<b>86.21%</b>

➡ 7月12日(火)新規陽性者数：**過去最多**の1,262人  
 (6月1日(水)時点での直近1週間の週平均：59.1人)  
 (7月12日(火)の島根県対策本部会議資料から引用)

## 奈良県

- ・ **7月1日(金)、県内で初めてBA.5の感染を確認**

## 専門家の分析

- ・ 都内では「**BA.2**」より**27%早く**広がると分析 (西浦 京都大学教授)
- ・ 全国の感染 **8月第1週に**ほぼ「**BA.5**」に置き換わる (推定：鈴木 国立感染研疫学センター長)

# 厚労省から都道府県・政令市・中核市への事務連絡

7月5日(火)

## ◆ 現下の状況

- 直近の感染状況は、**全国的に上昇傾向に転じて**いる。
- 6月30日のアドバイザリーボードの評価等
  - ① ワクチンの3回目接種と感染により獲得された**免疫には徐々に減衰**
  - ② 7月以降は梅雨明け、**3連休や夏休みの影響**もあり、**接触の増加等**が予想される
  - ③ オミクロン株の**新たな系統への置き換わり**の可能性も
- **今後は**感染者数の**増加も懸念**されるところであり、医療提供体制への影響も含めて注視していく必要がある。
- 熱中症**による救急搬送が増えており、十分な注意が必要

## ◆ オミクロン株の特性を踏まえた**検査・保健・医療提供体制**についてポイント

1. 感染拡大が生じても迅速・スムーズに検査でき、安心して <b>自宅療養できる体制の強化</b>	① 診療・検査医療機関の拡充・公表
	② 自宅療養者等への対応（オンライン診療等の更なる拡充など）
	③ 保健所の体制（外部委託などの推進、健康観察対象者の重点化など）
2. <b>病床の更なる確保等</b>	① 感染者の転退院先となる病床の更なる確保
	② 救急医療
	③ 病床の確保及び臨時の医療施設・入院待機施設の開設準備等
	④ 院内感染によるクラスターが発生した医療機関等における対応及び医療機関での対応強化
3. 高齢者施設等における集中的実施計画に基づく検査等	
4. 高齢者施設等における医療支援の更なる強化	

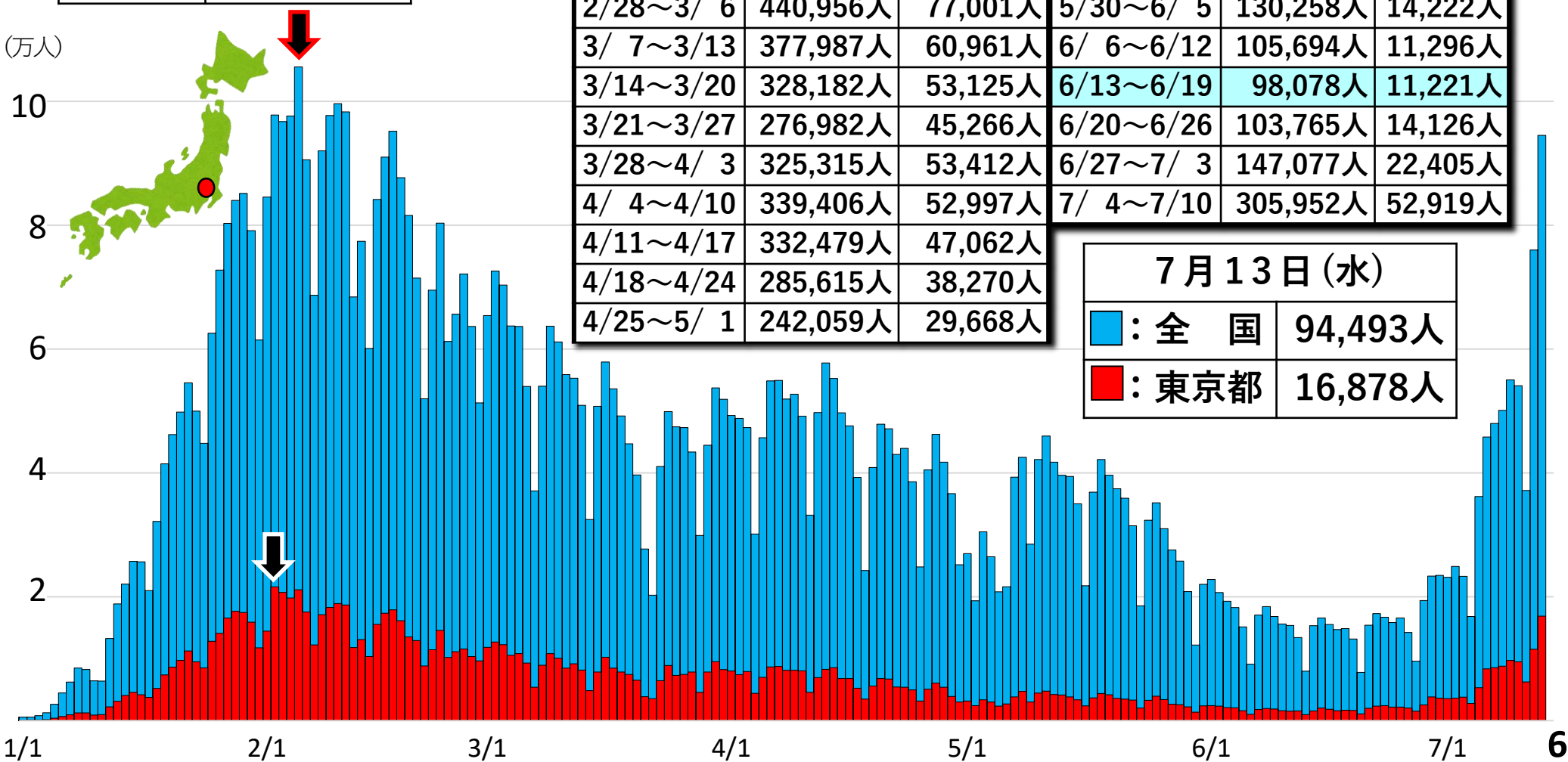
# 全国及び東京都における新規陽性者数の推移

NHK「新型コロナウイルス 特設サイト」から引用

第6波のピーク時	
全 国	<u>105,587人</u> 2月5日(土)
東京都	<u>21,576人</u> 2月2日(水)

週単位	全 国	東京都	週単位	全 国	東京都
1/31~2/ 6	634,302人	126,897人	5/ 2~5/ 8	200,483人	22,280人
2/ 7~2/13	602,178人	110,001人	5/ 9~5/15	272,357人	27,698人
2/14~2/20	571,111人	103,634人	5/16~5/22	245,233人	24,921人
2/21~2/27	464,409人	77,992人	5/23~5/29	191,161人	19,989人
2/28~3/ 6	440,956人	77,001人	5/30~6/ 5	130,258人	14,222人
3/ 7~3/13	377,987人	60,961人	6/ 6~6/12	105,694人	11,296人
3/14~3/20	328,182人	53,125人	6/13~6/19	98,078人	11,221人
3/21~3/27	276,982人	45,266人	6/20~6/26	103,765人	14,126人
3/28~4/ 3	325,315人	53,412人	6/27~7/ 3	147,077人	22,405人
4/ 4~4/10	339,406人	52,997人	7/ 4~7/10	305,952人	52,919人
4/11~4/17	332,479人	47,062人			
4/18~4/24	285,615人	38,270人			
4/25~5/ 1	242,059人	29,668人			

7月13日(水)	
■ : 全 国	94,493人
■ : 東京都	16,878人



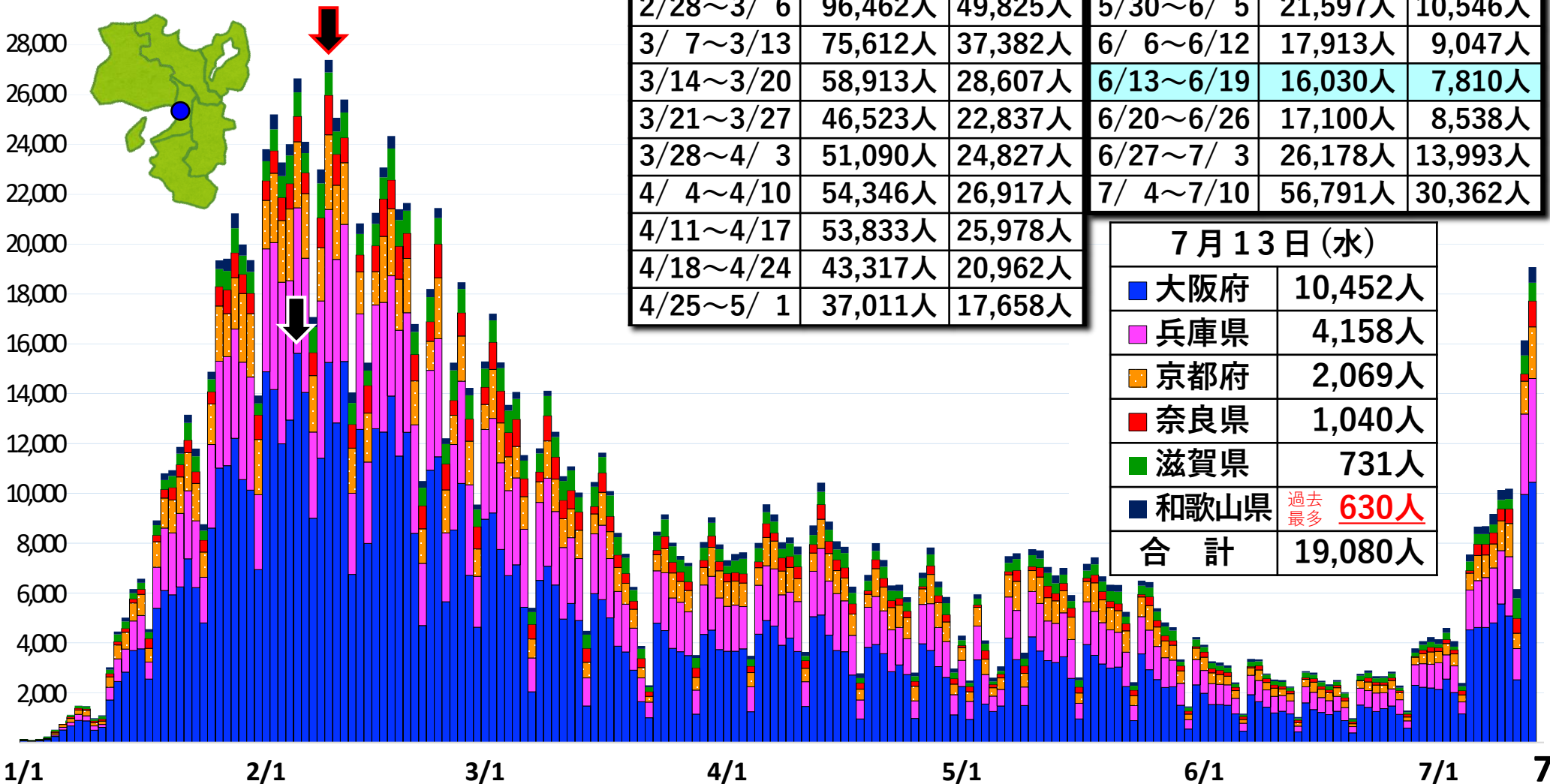
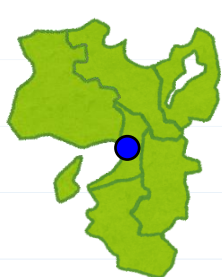
# 関西2府4県における新規陽性者数の推移

NHK「新型コロナウイルス 特設サイト」から引用

## 第6波ピーク時

2府4県	<b>27,393人</b> 2月9日(水)
大阪府	<b>15,617人</b> 2月5日(土)

(人)



週単位	2府4県	大阪府	週単位	2府4県	大阪府
1/31~2/ 6	<b>161,007人</b>	<b>90,585人</b>	5/ 2~5/ 8	33,289人	16,013人
2/ 7~2/13	153,235人	83,105人	5/ 9~5/15	45,753人	21,922人
2/14~2/20	143,765人	79,297人	5/16~5/22	41,788人	19,803人
2/21~2/27	110,308人	58,389人	5/23~5/29	33,546人	15,851人
2/28~3/ 6	96,462人	49,825人	5/30~6/ 5	21,597人	10,546人
3/ 7~3/13	75,612人	37,382人	6/ 6~6/12	17,913人	9,047人
3/14~3/20	58,913人	28,607人	6/13~6/19	16,030人	7,810人
3/21~3/27	46,523人	22,837人	6/20~6/26	17,100人	8,538人
3/28~4/ 3	51,090人	24,827人	6/27~7/ 3	26,178人	13,993人
4/ 4~4/10	54,346人	26,917人	7/ 4~7/10	56,791人	30,362人
4/11~4/17	53,833人	25,978人			
4/18~4/24	43,317人	20,962人			
4/25~5/ 1	37,011人	17,658人			

## 7月13日(水)

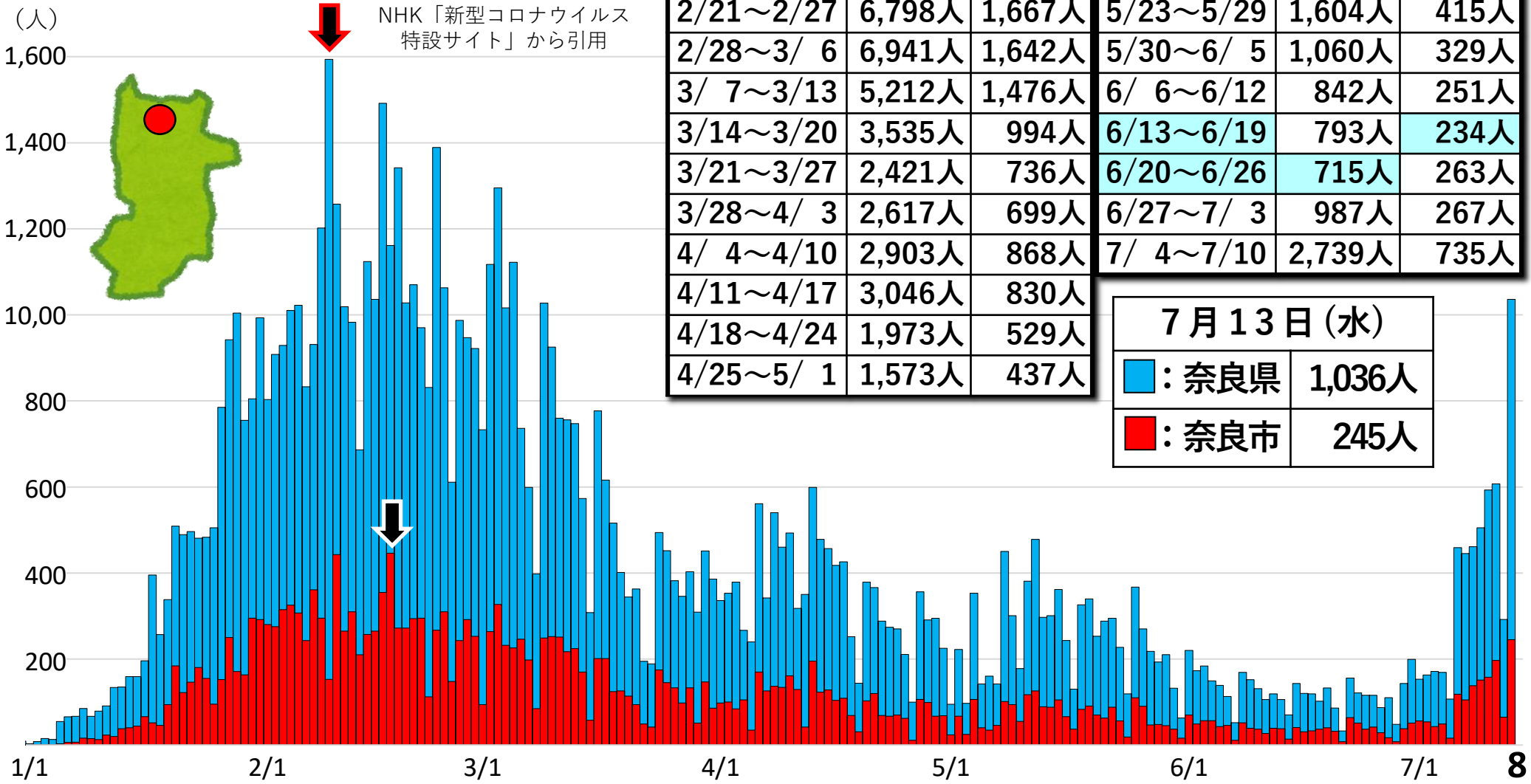
大阪府	10,452人
兵庫県	4,158人
京都府	2,069人
奈良県	1,040人
滋賀県	731人
和歌山県	過去最多 <b>630人</b>
合計	19,080人

# 奈良県及び奈良市における新規陽性者数の推移

過去最多	奈良県	<b>1,594人</b> 2月9日(水)
	奈良市	<b>446人</b> 2月17日(木)

週単位	奈良県	奈良市	週単位	奈良県	奈良市
1/31~2/ 6	6,498人	2,037人	5/ 2~5/ 8	1,566人	420人
2/ 7~2/13	7,672人	2,037人	5/ 9~5/15	2,298人	674人
<b>2/14~2/20</b>	<b>8,253人</b>	<b>2,161人</b>	5/16~5/22	1,875人	498人
2/21~2/27	6,798人	1,667人	5/23~5/29	1,604人	415人
2/28~3/ 6	6,941人	1,642人	5/30~6/ 5	1,060人	329人
3/ 7~3/13	5,212人	1,476人	6/ 6~6/12	842人	251人
3/14~3/20	3,535人	994人	6/13~6/19	793人	234人
3/21~3/27	2,421人	736人	6/20~6/26	715人	263人
3/28~4/ 3	2,617人	699人	6/27~7/ 3	987人	267人
4/ 4~4/10	2,903人	868人	7/ 4~7/10	2,739人	735人
4/11~4/17	3,046人	830人			
4/18~4/24	1,973人	529人			
4/25~5/ 1	1,573人	437人			

7月13日(水)	
■: 奈良県	1,036人
■: 奈良市	245人

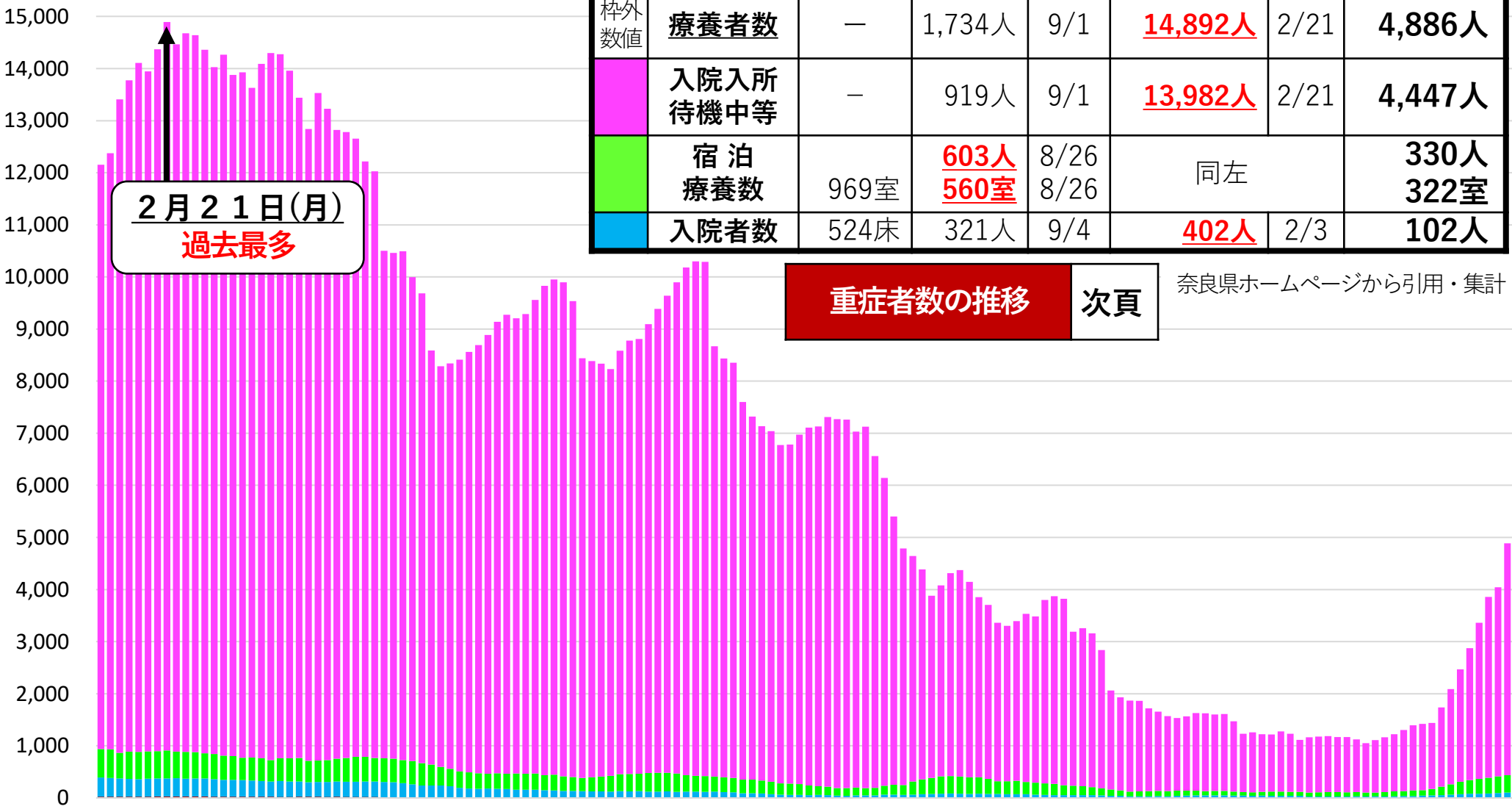




(人)

# 奈良県内における療養者数、入院者数等の推移

14,892



2月21日(月)  
過去最多

凡例	区分	確保病床	第5波のピーク時		過去最多		7月13日
枠外 数値	療養者数	—	1,734人	9/1	14,892人	2/21	4,886人
	入院入所 待機中等	—	919人	9/1	13,982人	2/21	4,447人
	宿泊 療養数	969室	603人 560室	8/26 8/26	同左		330人 322室
	入院者数	524床	321人	9/4	402人	2/3	102人

重症者数の推移 次頁

奈良県ホームページから引用・集計

療養者 週平均 (人)	2/14~	2/21~	2/28~	3/7~	3/14~	3/21~	3/28~	4/4~	4/11~	4/18~	4/25~	5/2~	5/9~	5/16~	5/23~	5/30~	6/6~	6/13~	6/20~	6/27~	7/4~	7/11
	13,447	14,476 (最多)	14,009	13,042	10,769	8,537	9,464	8,360	9,399	8,710	6,992	6,958	4,499	3,734	3,566	2,206	1,597	1,327	1,173	1,195	2,198	

# 奈良県内における重症者数の推移

奈良県ホームページから引用・集計

(人)

第6波ピーク時  
2月22日(火) 26人

第4波ピーク時  
令和3年5月9日(日) 29人

4月23日(土)以降  
3人以下で推移

23日間連続で「0」



週平均	2/14~	2/21~	2/28~	3/7~	3/14~	3/21~	3/28~	4/4~	4/11~	4/18~	4/25~	5/2~	5/9~	5/16~	5/23~	5/30~	6/6~	6/13~	6/20~	6/27~	7/4~	7/11
	22.4	25.0	21.7	19.7	13.3	10.6	9.7	7.3	6.6	4.3	2.3	2.0	1.0	0.1	0.4	0.0	0.0	0.4	1.6	1.4	2.4	10

# 市内医療機関におけるコロナ病床の占有率の状況

(%)

	確保病床数	6月	7月												
		30日 (木)	1日 (金)	2日 (土)	3日 (日)	4日 (月)	5日 (火)	6日 (水)	7日 (木)	8日 (金)	9日 (土)	10日 (日)	11日 (月)	12日 (火)	13日 (水)
県全体	524床	5.4	5.9	6.7	7.1	8.4	9.2	10.5	11.8	13.5	15.3	15.3	16.6	18.3	19.5
本市全体	157床	3.2	3.2	3.8	3.8	5.7	6.4	5.7	6.4	10.2	8.9	9.6	9.6	9.6	12.7
県総合医療センター	74床	1	1	0	0	1	1	0	0	3	3	3	4	7	8
市立奈良病院	34床	6	3	9	9	15	21	21	24	32	29	29	29	24	32
国立病院機構奈良医療センター	34床	3	3	3	3	3	3	3	3	6	3	6	3	0	3
吉田病院	8床	13	13	13	13	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
済生会奈良病院	7床	0	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	29	29

※確保病床数については最新の数値  
 ※奈良県ホームページから引用

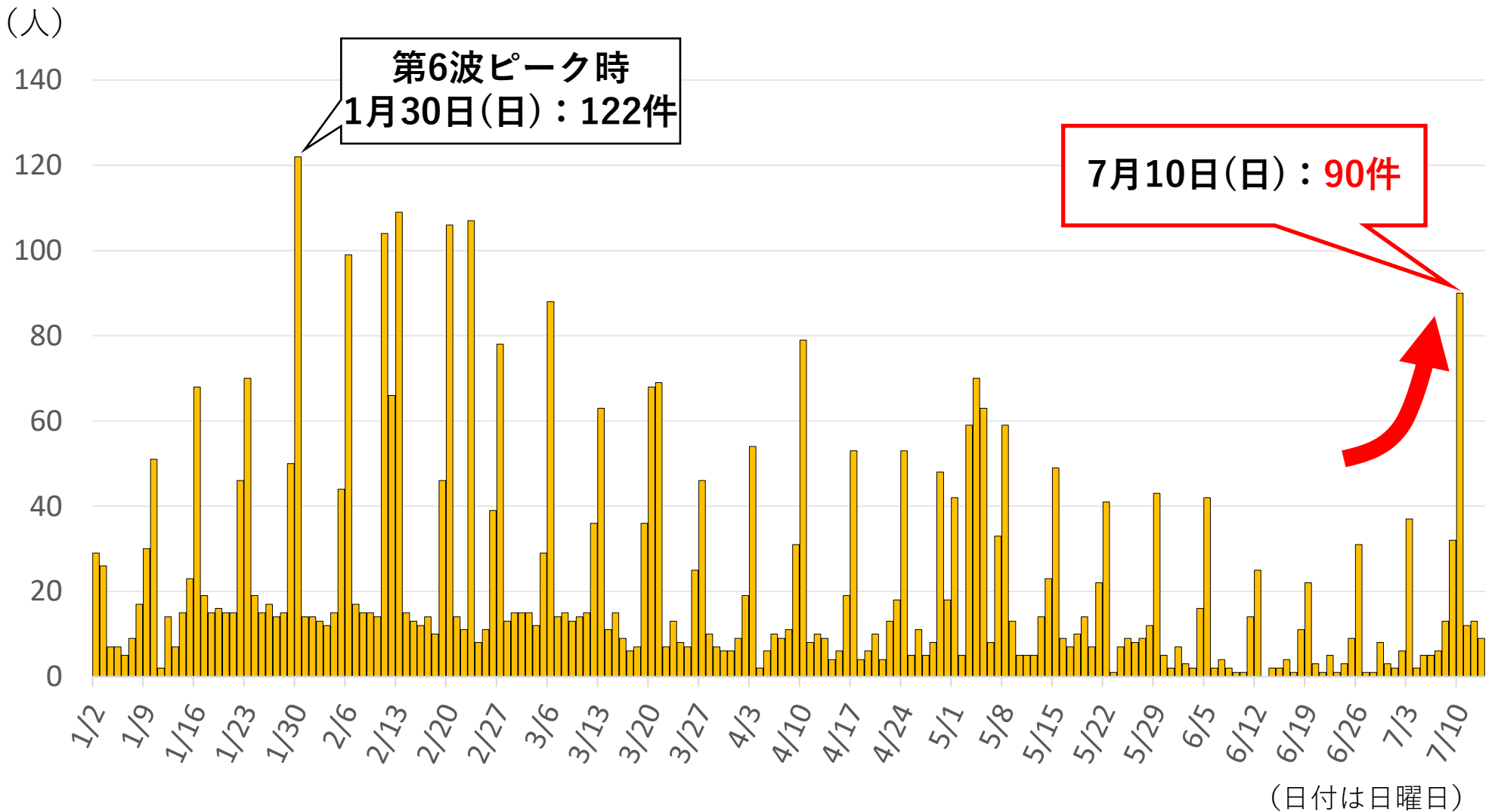


凡例

10%未満	:	緑色
10%以上	:	黄色
20%以上	:	橙色
50%以上	:	赤色
100%	:	茶色

11

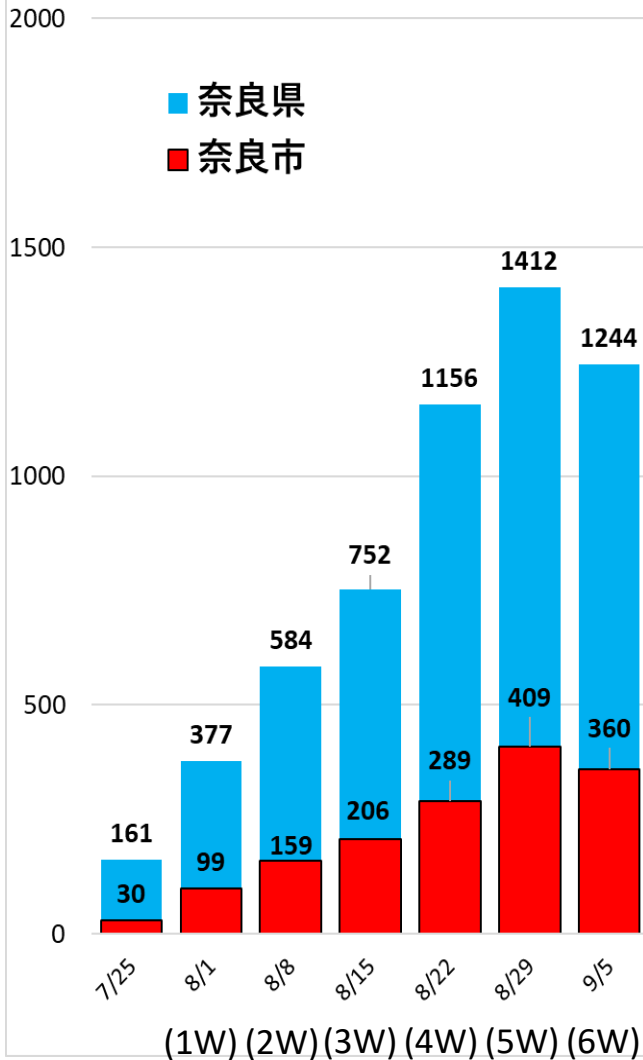
# 発熱外来（休日夜間応急診療所）における受診者数



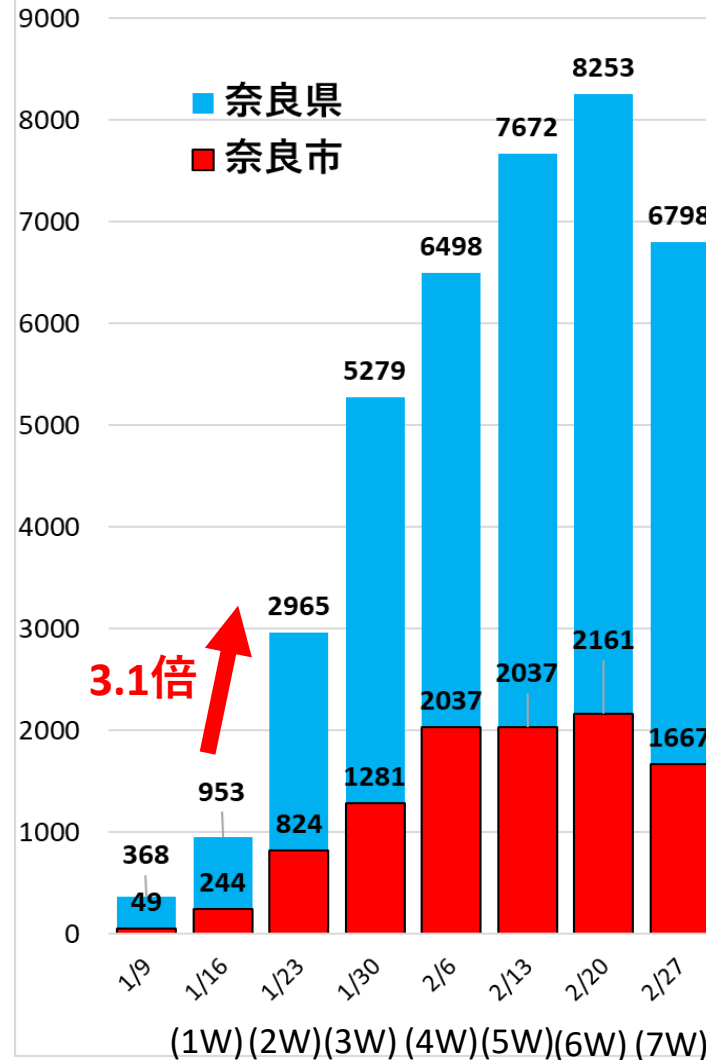
受診者数が急増し、第6波ピーク時に迫る件数となっている  
→ 感染急拡大の影響によるものと考えられる

# 第5波、第6波のピークまでの期間と今回の波の状況

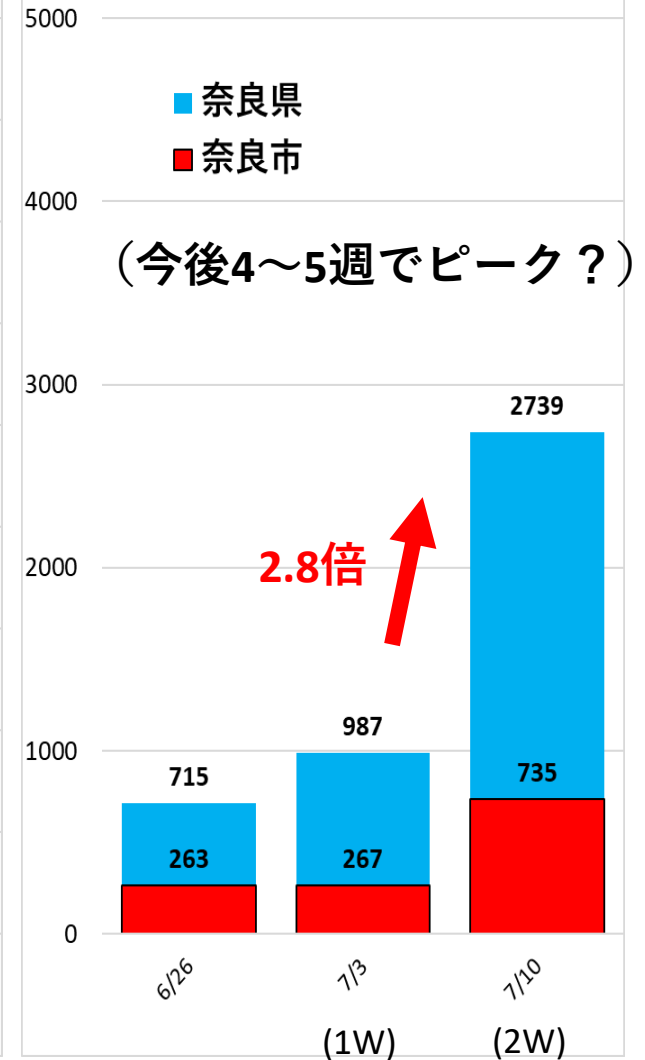
## 第5波（ピークまで5週）



## 第6波（ピークまで6週）



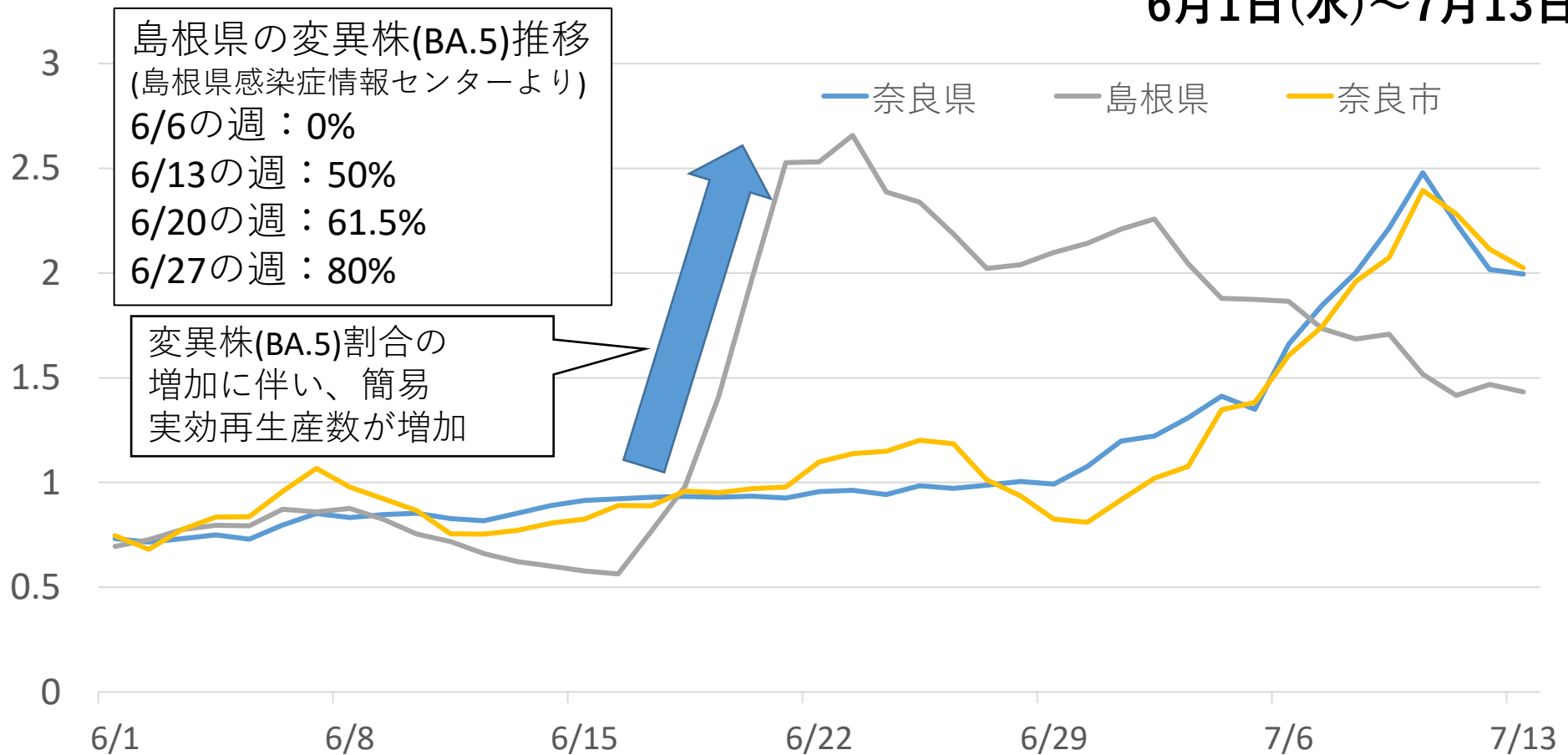
## 今回の波



今回の波も、第6波とほぼ同様のスピードで、感染急増

# 奈良県、島根県、奈良市の簡易実効再生産数の推移

6月1日(水)～7月13日(水)



- ・ 6月の島根県：変異株(BA.5)割合の増加に伴い、簡易実効再生産数が増加傾向  
→**感染力の強い変異株(BA.5)の置き換わりが進んだ結果**と考えられる。
- ・ 7月の奈良県・奈良市で簡易実効再生産数が増加傾向→BA.5への置換が進行か

# 本市におけるモニタリング結果

指 標	過去 最多	6 月	7 月													黄 へ	橙 へ	赤 へ	
		30日 (木)	1日 (金)	2日 (土)	3日 (日)	4日 (月)	5日 (火)	6日 (水)	7日 (木)	8日 (金)	9日 (土)	10日 (日)	11日 (月)	12日 (火)	13日 (水)				
県内の医療体制等の負荷	①県内の 確保病床 使用率	R4.23 79.1%	5.4 %	5.9 %	6.7 %	7.1 %	8.4 %	9.2 %	10.5 %	11.8 %	13.5 %	15.3 %	15.3 %	16.6 %	18.3 %	19.5 %	10% 以上	20% 以上	50% 以上
	②県内の 重症病床 使用率	R3.5.9 90.6%	5.6 %	5.6 %	2.8 %	2.8 %	2.8 %	5.6 %	8.3 %	8.3 %	8.3 %	8.3 %	5.6 %	5.6 %	8.3 %	5.6 %	10% 以上	20% 以上	50% 以上
市内感染状況	③市内の 直近1週間 陽性者数 /10万人	R4.2.21 619.4人	62.5 人	67.9 人	71.3 人	75.2 人	84.2 人	86.5 人	109.0 人	124.2 人	147.3 人	174.6 人	207.0 人	248.7 人	262.5 人	298.3 人	5人 以上	15人 以上	25人 以上
市内直近1週間の 新規陽性者数		R4.2.21 2,199人	222 人	241 人	253 人	267 人	299 人	307 人	387 人	441 人	523 人	620 人	735 人	883 人	932 人	1,059 人	/		

# 主なモニタリング指標数値の推移



2月3日(木)  
① : 79.1%

2月22日(火)  
② : 76.5%

2月21日(月)  
③ : 619.4人

1/1      2/1      3/1      4/1      5/1      6/1      7/1      16



# 気象庁の季節予報

## 近畿地方 1か月予報 (07/09(土)～08/08(月))

2022年07月07日(木)14時30分 大阪管区気象台 発表

### 特に注意を要する事項

期間のはじめは、**気温がかなり高くなる**見込みです。

向こう1か月  
07/02～08/01

天候

期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

気温

平均気温は、**高い確率60%**です。

1週目  
07/09～07/15

気温

1週目は、**高い確率80%**です。

2週目  
07/16～07/22

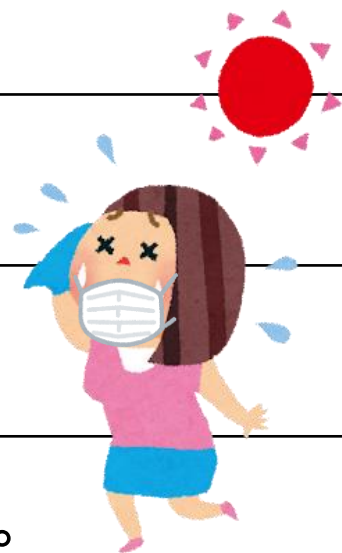
気温

2週目は、**高い確率50%**です。

3～4週目  
07/23～08/05

気温

3～4週目は、**高い確率50%**です。

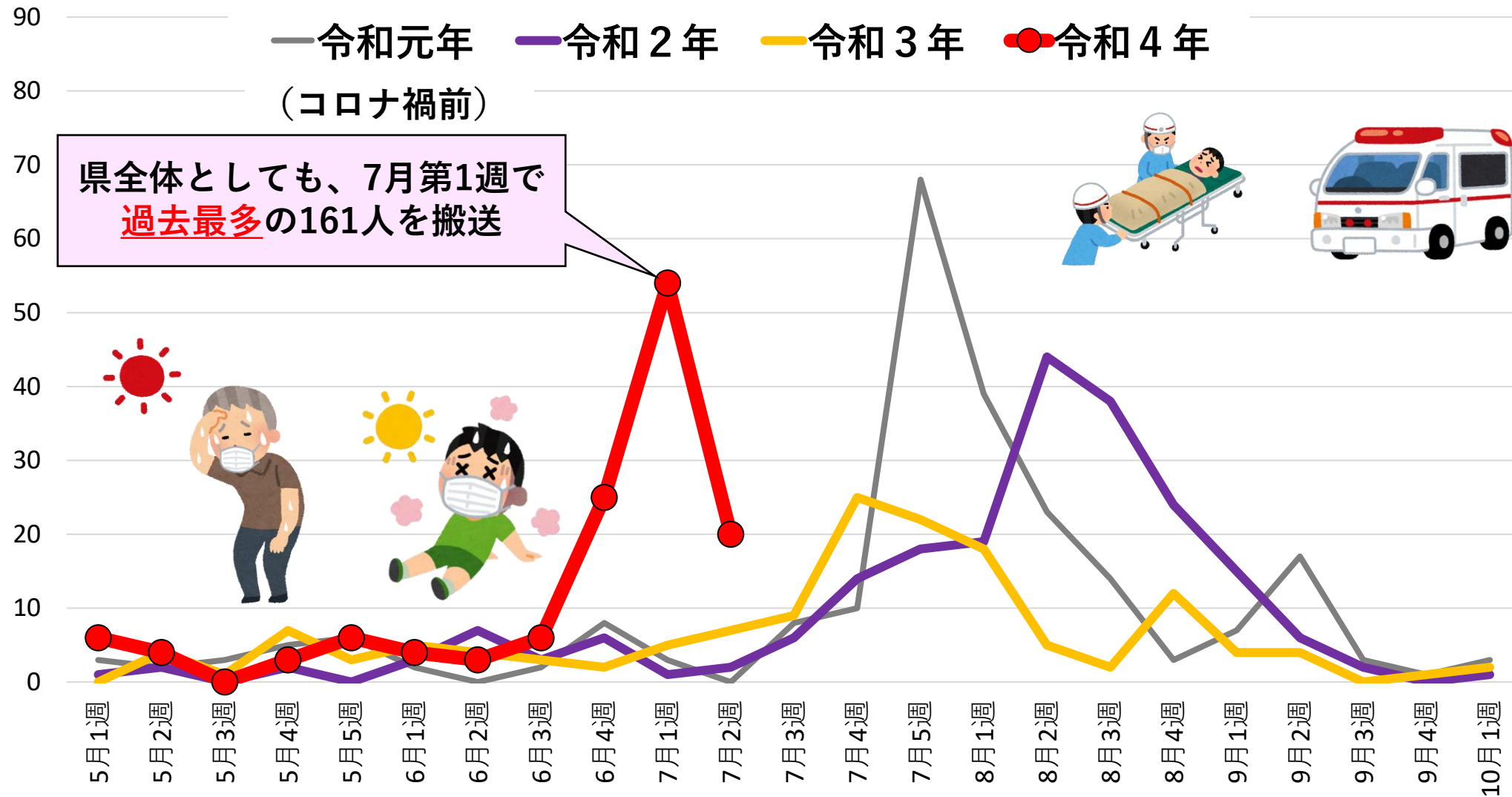


# 市内での熱中症救急搬送人数(コロナ禍前後の比較)

(件)

— 令和元年    — 令和2年    — 令和3年    ● 令和4年  
(コロナ禍前)

県全体としても、7月第1週で  
**過去最多**の161人を搬送

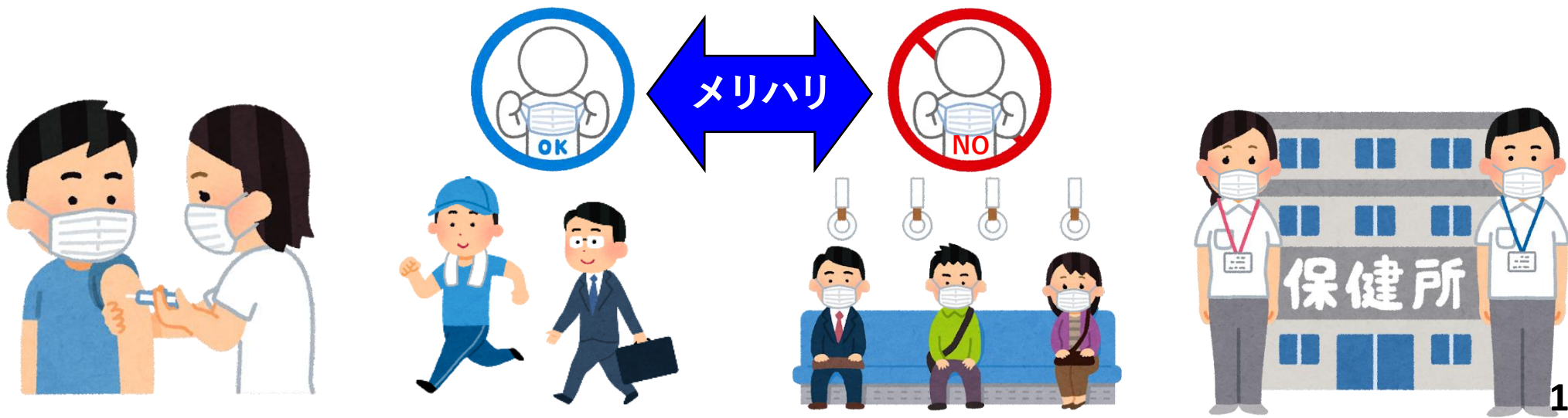


抑制されていた活動が、今後夏休みなどで活発となった場合、**熱中症の増加が懸念**

## 本市の対処方針

感染の増加傾向が顕著であり、また、今後、BA.5への置き換わり、ワクチン接種などで得られた免疫効果の低下、夏休みによる人出の増加、暑さによる換気の不徹底などの可能性があることから、現在、第7波に入ったとの認識です。一方で、猛暑の影響による熱中症のリスクも深刻と考えています。

ワクチン接種の推進、熱中症対策と両立したメリハリある感染対策の啓発などを継続・強化するとともに、保健所体制や、福祉施設への対応の点検・強化などにより、医療ひっ迫を防いでいきます。



# 保健所等における対応

項 目		本市の対応
保健所の体制	人員体制の拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委託職員の増員を依頼</li> <li>・ 部内応援体制に移行（疫学調査等）</li> </ul>
	発生届のHER-SYS入力の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様式変更により、入力が容易になったことも踏まえ、医療機関が発生届をHER-SYS入力で提出することを要請 → 21・22頁参照</li> </ul>
	健康観察対象者の重点化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 呼吸困難、高熱の継続等、重症化リスクの高い方に集中化して実施</li> </ul>
自宅療養者への対応	自宅療養者への医療提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市フォローアップセンターでの診療・薬の処方等の対応を継続</li> </ul>
	自宅療養者の生活支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自宅療養等サポートパック事業について更なる感染拡大時にも対応できるよう調達数・配送体制を拡充</li> </ul>
そ の 他		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 抗原検査キットの確保</li> </ul>

# 発生届の様式変更について

## ～ 感染症法の省令改正に基づく変更 ～

旧	新 (R4.6.30～)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○感染者の個人情報、医療機関情報</li> <li>○症状（発熱、咳、頭痛などの有無）</li> <li>○診断方法（検査方法（PCR／定量／定性、鼻腔／鼻咽頭、検体採取日））</li> <li>○初診年月日</li> <li>○診断年月日</li> <li>○感染したと推定される年月日</li> <li>○発病年月日</li> <li>○死亡年月日</li> <li>○感染原因・感染経路・感染地域               <ul style="list-style-type: none"> <li>・飛沫／接触感染の別、状況</li> <li>・ワクチン接種歴（各回の接種年月日、ワクチンの種類）</li> </ul> </li> <li>○その他感染症のまん延の防止及び当該者の医療のために医師が必要と認める事項               <ul style="list-style-type: none"> <li>・重症化リスク因子の有無</li> <li>・免疫機能が低下しているおそれや妊娠の有無</li> <li>・重症度（軽症・中等症Ⅰ・中等症Ⅱ・重症）</li> <li>・入院の必要性の有無</li> <li>・オンライン診療の有無</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○感染者の個人情報、医療機関情報</li> <li>○検体採取年月日</li> <li>○診断年月日</li> <li>○発病年月日</li> <li>○死亡年月日</li> <li>○その他感染症のまん延の防止及び当該者の医療のために医師が必要と認める事項               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワクチン接種歴（回数、直近の接種年月日・ワクチンの種類）</li> <li>・重症化リスク因子の有無（CDCや国内の報告を踏まえ、因子を追加）</li> <li>・免疫機能が低下しているおそれや妊娠の有無</li> <li>・重症度（無症状・軽症・中等症Ⅰ・中等症Ⅱ・重症）</li> <li>・入院の必要性の有無</li> </ul> </li> </ul>

# 発生届の変更後の新旧様式

旧

新 (R4.6.30~)

別記様式 6-1

## 新型コロナウイルス感染症 発生届

都道府県知事（保健所設置市長・特別区長） 殿

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項（同条第8項において準用する場合を含む。）の規定により、以下のとおり届け出る。

報告年月日 令和 年 月 日

医師の氏名 \_\_\_\_\_  
 従事する病院・診療所の名称 \_\_\_\_\_  
 上記病院・診療所の所在地(※) \_\_\_\_\_  
 電話番号(※) \_\_\_\_\_

(※病院・診療所に従事していない医師にあっては、その住所・電話番号を記載)

1 診断（検査）した者（死体）の類型					
・患者（確定例）・無症状病原体保有者・疑似症患者（*）・感染症死亡者の死体・感染症死亡疑い者の死体（*） 疑似症患者について、当該者が入院を要しないと認められる場合は、本発生届の提出は不要。					
2 当該者氏名（フリガナ）	3 性別	4 生年月日	5 診断時の年齢(0歳は月齢)	6 当該者職業	
	男・女	年 月 日	歳 ( 月)		
7 当該者住所	電話 ( ) -				
8 当該者所在地	電話 ( ) -				
9 保護者氏名	10 保護者住所	(9、10は患者が未成年の場合のみ記入)			
		電話 ( ) -			

11 症状	・発熱 ・咳 ・咳以外の急性呼吸器症状 ・肺炎像 ・重篤な肺炎 ・急性呼吸器症候群 ・多臓器不全 ・全身倦怠感 ・頭痛 ・嘔気/嘔吐 ・下痢 ・結膜炎 ・嗅覚・味覚障害 ・酸素飽和度(室内気): % ・その他( )・症状なし	18 感染原因・感染経路・感染地域	①感染原因・感染経路(確定・推定) 1 飛沫・飛沫核感染(感染源の種類・状況: ) 2 接触感染(接触した人・物の種類・状況: ) 3 その他( ) ②感染地域(確定・推定) 1 日本国内( 都道府県 市区町村) 2 国外( 国 ) 詳細地域 _____ ※複数の国又は地域該当する場合は全て記載すること。 渡航期間(出国日 年 月 日・入国日 年 月 日) 国外居住者については、入国日のみで可 ③新型コロナウイルスワクチン接種歴 1 回目 有( 歳)・無・不明 ワクチンの種類/製造会社 接種年月日(R 年 月 日・不明) / ( ) 2 回目 有( 歳)・無・不明 ワクチンの種類/製造会社 接種年月日(R 年 月 日・不明) / ( ) 3 回目 有( 歳)・無・不明 ワクチンの種類/製造会社 接種年月日(R 年 月 日・不明) / ( )		
12 診断方法	・分離・同定による病原体の検出 検体:喀痰、気管吸引液、肺胞洗浄液、咽頭拭い液、 鼻腔吸引液、鼻拭い液、鼻咽頭拭い液、便、唾液、 剖検材料、その他( ) 検体採取日( 月 日 ) 結果(陽性・陰性) ・検体から核酸増幅法(PCR法 LAMP法など)による 病原体遺伝子の検出 検体:喀痰、気管吸引液、肺胞洗浄液、咽頭拭い液、 鼻腔吸引液、鼻拭い液、鼻咽頭拭い液、便、唾液、 剖検材料、その他( ) 検体採取日( 月 日 ) 結果(陽性・陰性) ・抗原定性検査による病原体の抗原の検出 検体:鼻拭い液、鼻咽頭拭い液 検体採取日( 月 日 ) 結果(陽性・陰性) ・抗原定量検査による病原体の抗原の検出 検体:鼻拭い液、鼻咽頭拭い液、唾液 検体採取日( 月 日 ) 結果(陽性・陰性)	19 その他感染症のまん延の防止及び当該者の医療のために医師が必要と認める事項	・届出時点の入院の有無(有・無) ・入院例のみ(入院年月日 令和 年 月 日) ・重症化のリスク因子となる疾患等の有無(有・無) ※有の場合は、以下から選択 ・悪性腫瘍、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、慢性腎臓病、 高血圧、糖尿病、脂質異常症、肥満(BMI30以上)、 喫煙歴、その他( ) ・臓器の移植、免疫抑制剤、抗がん剤等の使用その他の事由により 免疫の機能が低下しているおそれの有無(有・無) ・妊娠の有無(有・無) ・重症度(「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)診療の手引き」 による。)〔軽症・中等症Ⅰ・中等症Ⅱ・重症〕 ・入院の必要性の有無(有・無) ・新型コロナウイルス感染症の拡大に際しての限定的・特 例的な取扱いによる電話や情報通信機器を用いた診療 の有無(有・無)		
13 初診年月日	令和 年 月 日				
14 診断（検査）年月日	令和 年 月 日				
15 感染したと推定される年月日	令和 年 月 日				
16 発病年月日（*）	令和 年 月 日				
17 死亡年月日（※）	令和 年 月 日				

(1、3、11、12、18欄は該当する番号等を○で囲み、4、5、13から17欄は年齢、年月日を記入すること。  
 (※)欄は、死亡者を検案した場合のみ記入すること。(\*)欄は、患者（確定例）を診断した場合のみ記入すること。11、  
 12欄は、該当するものすべてを記載すること。

この届出は診断後直ちに行ってください

別記様式 6-1

## 新型コロナウイルス感染症 発生届

都道府県知事（保健所設置市長・特別区長） 殿  
 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項（同条第8項において準用する場合を含む。）の規定により、以下の  
 とおり届け出る。

(\*)欄は、該当する番号を右欄に記入

報告年月日 2 0 年 月 日

医師の氏名 \_\_\_\_\_  
 従事する病院・診療所の名称 \_\_\_\_\_  
 上記病院・診療所の所在地(※1) \_\_\_\_\_  
 電話番号(※1) \_\_\_\_\_

(※1病院・診療所に従事していない医師にあっては、その住所・電話番号を記入(電話番号はハイフンは含まない))

診断(検査)した者(死体)の類型(\*)  
 1.患者(確定例)、2.無症状病原体保有者、3.疑似症患者(※2)、4.感染症死亡者の死体、5.感染症死亡疑い者の死体  
 ※2疑似症患者について、入院を要しないと認められる場合は、発生届の提出は不要

フリガナ \_\_\_\_\_ 性別(\*)  
 1.男、2.女、3.その他

当該者氏名 \_\_\_\_\_

生年月日(西暦) \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 診断時の年齢(※3) \_\_\_\_\_ 歳 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

※3 月齢は0歳児のみ記入、右詰めに記入

当該者所在地(※4) \_\_\_\_\_

当該者電話番号(※5) \_\_\_\_\_

※4 届出時点で当該者が居住している住所を記入

保護者氏名(※6) \_\_\_\_\_

保護者電話番号(※6、※7) \_\_\_\_\_

※5 電話番号は、連絡が取れる番号(携帯電話番号を推奨)、左詰めに記入(ハイフンは含まない)  
 ※6 保護者氏名および電話番号は、患者が未成年の場合のみ記入

診断(検査)年月日 2 0 年 月 日

診断の根拠となった検体の採取年月日(※7) 2 0 年 月 日

発病年月日(有症状の場合) 2 0 年 月 日

死亡年月日(死亡者検案の場合) 2 0 年 月 日

※7 疑似症患者の検体採取年月日は、診断(検査)年月日を記入

ワクチン接種回数 \_\_\_\_\_ 回 直近の新型コロナウイルスワクチン接種年 2 0 年 月 日

直近に接種した新型コロナウイルスワクチン(\*) (注)下記以外のワクチン接種の場合は6.その他に記入

1.ファイザー、2.モデルナ、3.アストラゼネカ、4.ノババックス、5.不明

※8 ワクチン接種回数がない場合は「0」と記入し、不明の場合は「不明」と記入

重症化のリスク因子となる疾病の有無(注)該当する番号の欄に、下記以外のリスク因子があれば13.その他に記入

1.悪性腫瘍、2.慢性呼吸器疾患(COPD等)(※9)、3.慢性腎臓病、4.心血管疾患、5.脳血管疾患、6.喫煙歴、7.高血圧、8.糖尿病、9.脂質異常症、  
 10.肥満(BMI30以上)、11.臓器の移植、免疫抑制剤、抗がん剤等の使用その他の事由による免疫機能の低下、12.妊娠

13.その他 \_\_\_\_\_

※9 慢性閉塞性肺疾患、間質性肺疾患、肺がん、肺動脈高血圧、気管支拡張症等

届出時点の重症度(「新型コロナウイルス感染症診療の手引き」による。)(\*)

1.軽症、2.中等症Ⅰ(呼吸不全なし)、3.中等症Ⅱ(呼吸不全あり)、4.重症、5.無症状

届出時点の入院の必要性の有無(\*) \_\_\_\_\_ 届出時点の入院の有無(\*) \_\_\_\_\_

1.有、2.無 \_\_\_\_\_ 1.有、2.無 \_\_\_\_\_

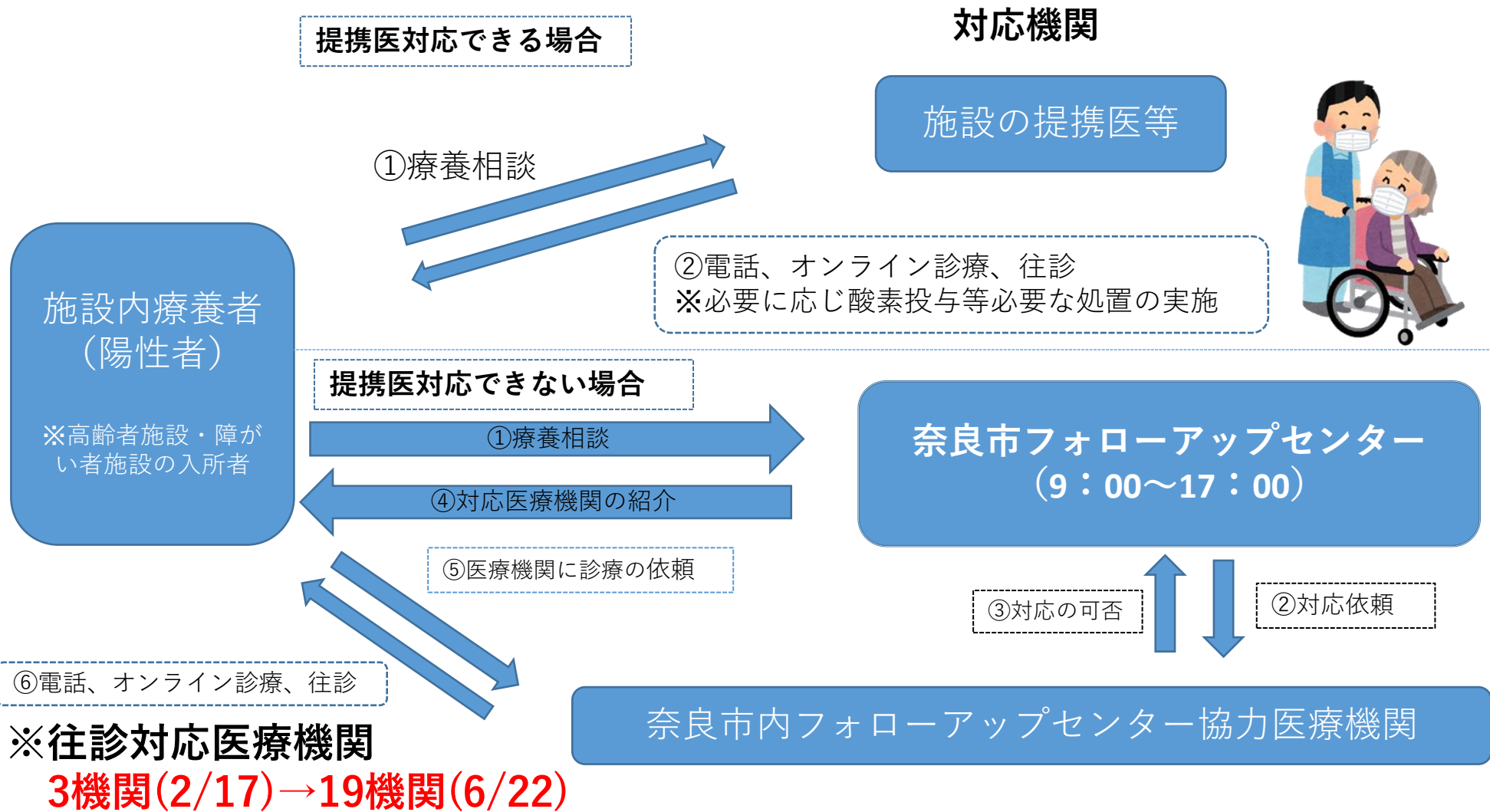
この届出は診断後直ちに行ってください

# 福祉施設への対応

項目	第6波の対応		第7波における改善点
福祉施設で陽性者が発生した場合の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 福祉部内にクラスター室を設置、電話による聞き取り調査を行い濃厚接触者の特定、感染対策等の助言・指導を実施</li> <li>➤ クラスター発生施設へ専門職の派遣</li> </ul>	<p>入所・居住系施設でクラスターが多発</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ クラスターの<b>発生前</b>を含めて、早急に<b>専門職を派遣し</b>感染対策等の助言指導を実施し感染拡大の防止を図る。</li> </ul>
陽性者が発生した施設の検査体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 抗原キットにて幅広い検査の実施</li> </ul>	<p>一定以上のウイルス量が必要なため結果が陰性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 検査体制を 拡充予定</li> </ul>
高齢者施設等における医療支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 提携医が対応できない場合、奈良市フォローアップセンターと連携した支援</li> <li>➤ 陽性者が発生した高齢者施設等への往診等を行った医療機関への協力金支給（資料24頁）</li> </ul>	<p>施設内療養の医療体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 引続き実施</li> <li>➤ 医師会と連携し協力医療機関の拡充</li> </ul>
高齢者施設等への対応依頼	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 面会は「より一層の慎重な対応」</li> <li>➤ 施設における感染対策の強化</li> </ul>	<p>施設内療養の環境整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ <b>面会</b>は「<b>原則自粛</b>」を依頼</li> <li>➤ 陽性者発生時は市クラスター室等への速やかな報告と感染防止対策の徹底</li> <li>➤ 提携医療機関との協力体制</li> </ul>
県への要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 臨時の応急施設の稼働</li> <li>➤ 宿泊療養施設における酸素投与等の治療の実施</li> <li>➤ 高齢者施設等での酸素投与の等の治療が可能な体制整備</li> <li>➤ 透析を必要とする陽性者の受入れ可能な透析医療機関の確保</li> <li>➤ 宿泊療養施設入所基準の緩和</li> </ul>	<p>従事者のウイルス持ち込みにより入所者へ感染</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 高齢者施設、障害者施設等の従事者に対する<b>集中的検査の実施</b></li> </ul>



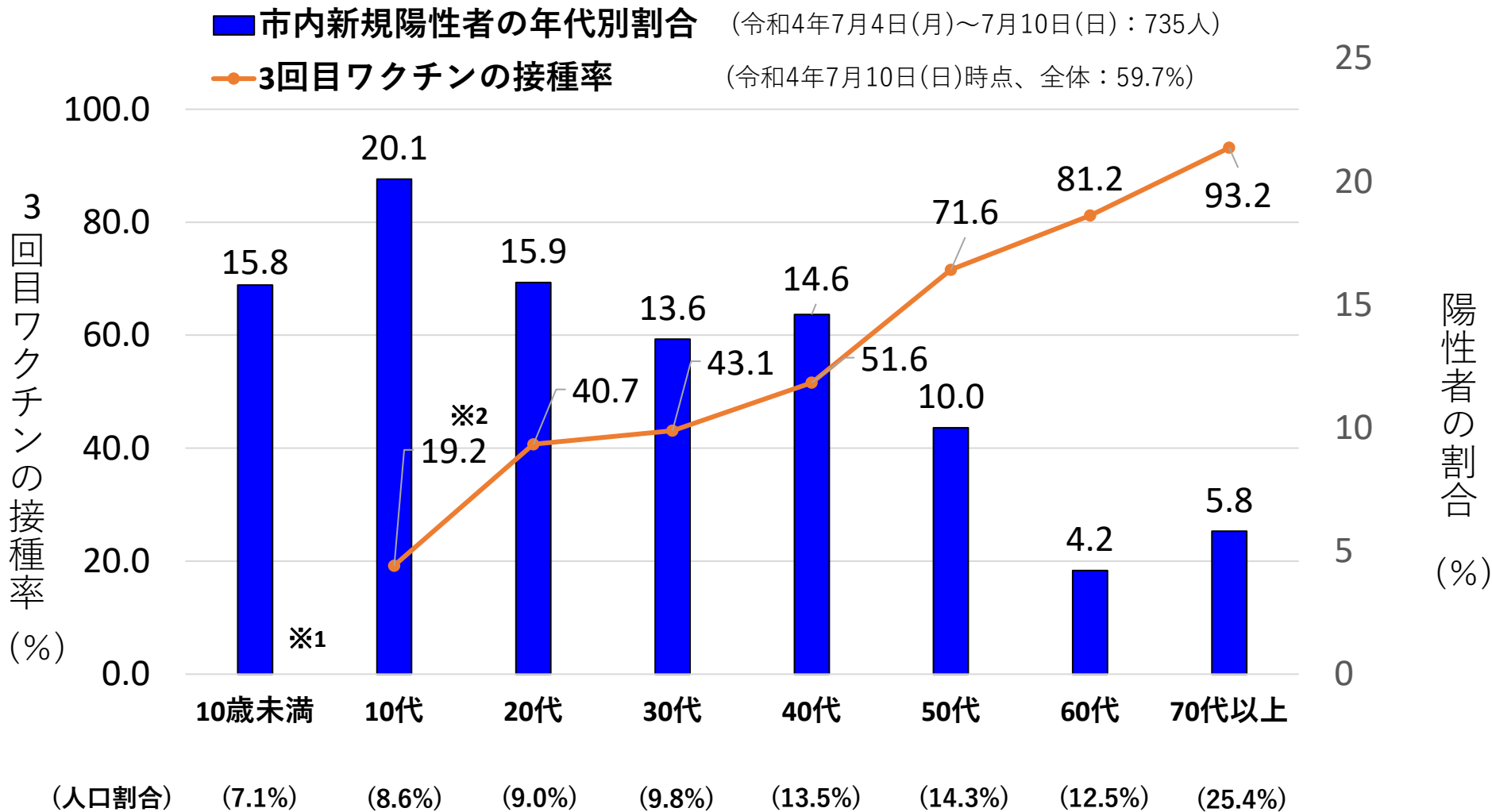
# 福祉施設内療養者への往診等



※老人保健施設等に勤務する医師（常勤・非常勤、専従・兼務等含む）が勤務として同施設の入所者を診療をする場合は対象外となります。



# 市内陽性者の年代別割合と3回目ワクチン接種率との関係



※1：10歳未満の3回目接種は実施していない ※2：12～19歳の接種率

# ワクチン接種の効果

6/1～7/12の感染者のワクチン接種状況进行分析

→3回目接種済者の罹患率は、未接種者のわずか1/5!

分析期間	3回目接種済者			未接種者		
	累積接種者数(A) (人)	週当たり感染者数(B) (人)	罹患率(B)/(A) (%)	累積未接種者数(C) (人)	週当たり感染者数(D) (人)	罹患率(D)/(C) (%)
6/1-6/7	203,395	79	0.04	59,712	123	0.21
6/8-6/14	206,357	66	0.03	59,632	108	0.18
6/15-6/21	207,981	72	0.03	59,606	97	0.16
6/22-6/28	209,399	66	0.03	59,497	108	0.18
6/29-7/5	210,773	103	0.05	59,454	105	0.17
7/6-7/12	211,980	283	0.13	59,423	363	0.61
平均			<u>0.05</u>			<u>0.25</u>

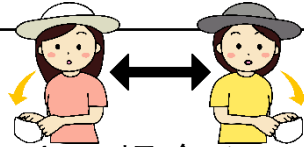
← **約 1 / 5** →

- (1) ワクチンを接種することで、感染予防、発症予防、重症化予防の効果が増し、遷延化予防効果もある!
- (2) 1回目・2回目接種を受けていない方も接種を検討してもらうことが重要です!

## すぐそばにBA.5！ 基本対策、もう一度。

緩んでいませんか、あなたの感染対策。いま一度、徹底しましょう、命と健康のために

### メリハリあるマスク着用

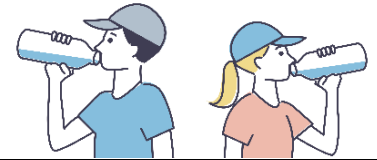


- ・屋外では人との距離が確保できる場合や、会話をほとんど行わない場合マスク着用の必要はありません。特に**運動時はマスクをはずしましょう**。
- ・屋内では人との距離が確保でき、会話をほとんど行わない場合、必要ありません。

### 熱中症予防も万全に



- ・のどが渴いていなくても、**1日あたり1.2L**を目安に**水分補給**をしましょう。
- ・**入浴前後**や**起床後**もまずは水分補給を
- ・大量に汗をかいた時は塩分も忘れずに



### 夏こそ換気の徹底を



- ・エアコン使用中も窓とドアなど**2か所**を開けましょう。
- ・**扇風機**や**換気扇**の併用を
- ・換気後は、エアコンの温度をこまめに再設定



### 外出・食事も緩みなく

- ・旅行、帰省は**感染対策**をしつつ楽しみましょう。
- ・飲食は**少人数・短時間**で！感染対策を実施しているお店を選び、**マスク会食**を行いましょう。
- ・体調がすぐれない場合は、外出を控え、まずは**かかりつけ医に相談**を

